



### 佐藤 □□さん (17歳・新畑町)

秋田中央高等学校3年、女子バスケットボール部所属。本年6月の全県高校総体では全試合に先発出場し、チームを準優勝に導きました。

#### 3点シュートを武器に チームを県大会準優勝に導く

秋田中央高校女子バスケットボール部に所属する佐藤さん。「3点シュートを決めるのが自分の役割」と話すように、好機があれば迷いなくシュートを放つなど、強気のプレーでチームをけん引します。

佐藤さんが得意とする「3点シュート」は、通常のシュート(2点)に比べ難易度が上がる分、1本の成功で3点分の得点を上積みできることから、攻撃時の強力な武器となります。佐藤さんはこの3点シュートの精度を高めるべく、朝の授業開始前の時間を利用して自主練習に取り組み、昨年からの10か月間で3万7,000本を沈めました。また、有利な状況でシュートを打つため、全体練習時には守備側の選手

を振り切ってボールを受ける動きなどを磨きました。

そして迎えた本年6月の全県高校総体では、全試合に先発出場する中で、「うまくいかない時も弱気にならず、自分らしいプレーができた」と振り返るように、日々の積み重ねを自信に、チームを5年ぶりとなる準優勝へと導きました。

佐藤さんは当初、この夏を区切りとし、引退するかどうか迷っていたのですが、決勝戦の相手の湯沢翔北高校に負けた悔しさや不完全燃焼感が残り、現役続行を決断。現在は、10月末の「全国高等学校バスケットボール選手権大会秋田県予選会」に向けて引き続き練習を重ね、シュート精度のさらなる向上に加え、攻撃の幅を広げようと、ドリブルで切り込むプレーや中距離の

シュート練習などに取り組みます。

佐藤さんは、「夏の総体には『どこにも負けない』という気持ちで臨んだので、準優勝という結果はとても悔しい。また、今回を含め湯沢翔北高校には3度負けているので、最後の最後で勝って高校生活を締めくくりたい」と、高校最後の大会での雪辱を誓いました。



### ケリーの ごじょうめ 奮闘記



Kelly Joan Morgon  
ケリー・ジョアン・モルゴン

2020年12月に町の英語指導助手(ALT)に着任しました。この夏で任期を終え、故郷のオーストラリアへ戻ります。みなさん、2年間ありがとうございました。

#### 大好きな五城目との別れ

This is my final piece of writing after a wonderful two years of living here in Gojome-machi. I am thankful to everyone living here. You have all been so kind and welcoming. I will miss Gojome-machi when I return to Australia.

五城目での楽しい2年間を終え、このコーナーも今回が最後となりました。みなさんがいつも親切にしてくれたこと、改めて感謝しています。オーストラリアに戻ったら、五城目が恋しくなります。

I loved visiting the morning market and seeing all the interesting stalls and items for sale. Gojome Bakery is amazing and I love seeing all the different food options that they have.

朝市通りに足を運び、面白いお店や、個人的な商品を見て歩くのがとても好きでした。中でも、パン屋さんには様々な種類のものであって、お気に入りの場所です。

I have enjoyed the slow pace of Gojome-machi and seeing all the beautiful landscapes and features including Nekobari. Visiting Seiryunomori and trying their delicious menu made with local ingredients was a highlight. I will miss Gojome-machi and all of the people living here. I hope I will visit in the future. Take care and goodbye for now.

五城目では、ゆっくりと時間が流れ、ネコバリ岩をはじめとする美しい風景を見ることができ、とても楽しい時間を過ごせました。また、農家レストラン「清流の森」で食べた、地元の食材を使ったおいしい料理が印象に残っています。

五城目を離れることと、みなさんとお別れが寂しいです。いつの日かまた、訪れたいと思っています。

みなさんお元気で。またお会いしましょう!



### 石井 正春さん (67歳・町村)

#### ライフル射撃選手権大会で 全国準優勝に輝く

#### 輝け! 五城目びと

家業の大工として働く傍ら、東汀猟友会の一員としても活動する石井さん。20歳のころに猟銃免許を取得し、射撃場に通い腕を磨く中で、当時の猟友会会員に「大会に出てみないか」と誘われたことがきっかけで、射撃の各種大会へ出場するようになります。以来、30年以上にわたって東日本や全日本規模の大会への出場を続け、その間、2度にわたり、全国3位の好成績を収めました。

数ある種目の中で石井さんが専門とするのは、「ビッグボア・ハンティングライフル伏射40発競技」で、猟銃を使いながら、300m先にある固定された標的の中心を狙って撃ち、命中した弾丸が

どれだけ標的の中心に近いかによって、得点の高さを競います。「高齢になったこともあり、これが最後の大会」と意気込んで出場した本年5月の「第48回全日本ライフル射撃選手権大会」では、日本各地から精鋭が集う中、ここ一番の集中力とこれまで培った実力を発揮し、同種目で見事準優勝を果たしました。

石井さんは、「この歳で自己最高の成績を取られるとは考えてもいなかった。出場者から励ましの言葉をいただいたことや、長年抱き続けた『優勝』という目標もあるので、これからも頑張ってみようと思う」とお話ししていました。

### ごじょうめの 文芸



#### 「短歌」

歳月の過ぐるは速し終戦告ぐ  
玉音放送を知る人も稀

さわやかな辛みとかおり夏ミヨウガ  
食欲そそる幸せな味

昨夜の雨いまだ含めるラベンダー  
花の水玉朝日に光る

七月の太陽まぶし自転車漕ぐ  
若きのリズム過ぎし日われも

「俳句」  
エアコンやセンス使うもこち良き  
寺庭 石井 テツ  
古い菜し芽を出す種に願ひ込め  
上樋口 猿田ひろ子  
おじぎ草みんなさわつたてしかめる  
雀館 村上ハツ子

「川柳」  
コロナ禍も耳が遠くて密になる  
八郎瀧町 谷村さゆ子  
会いたくて時々過去の蓋開ける  
新町 大原美どり  
人として私は守る側にいる  
新畑町 荒川 一滴  
じわじわと値上げの風が頬をなで  
畑町 三浦 春水

浦横町 大宮 一郎  
岡本 二方 征捷  
古川町 小濱 キエ  
八郎瀧町 畑澤 英子